

「2025 年度 JSCA 建築構造士定期講習会」のご案内

主催：(一社)日本建築構造技術者協会
建築構造士制度委員会

一昨年は関東大震災から節目の 100 年となり「構造設計 関東大震災からの 100 年」と題しお話を頂きました。昨年も元旦に発生した能登地震等の大地震が続き、耐震性については構造設計の大きな課題であると考え、「性能設計と地震被害」と題しお話を頂き、地震に関係するテーマが続きました。

今年の定期講習会は「構造設計いま、このさき」と題し企画しました。

「いま」は、開催中の大阪・関西万博の大屋根リングを取り上げました。万博公式サイトでは『大屋根リングは「多様でありながら、ひとつ」という会場デザインの理念を表す大阪・関西万博会場のシンボル建築物です。神社仏閣などの建築に使用されてきた伝統的な貫（ぬき）接合に、現代の工法を加えて建築しています。』とされています。環境配慮の観点からも「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が制定され、木質構造は現在多く使用されています。今が旬の大屋根リングの設計と施工について紹介頂くこととしました。

「このさき」は、AI 技術と BIM を取り上げました。昨今急激に普及している AI を使った技術と実践普及している BIM についての企画としました。AI を使った建築と構造技術は、次世代 AI を使った設計「AI 建築設計ドロー」が本格提供開始されている事例もあるようです。その大きな理由として現代の建築設計は、プロジェクトの大型化や短納期化が進み、建築設計や構造設計個人の知識やスキル頼みではなく、AI を使った効率と品質の両立が必要な状況にあるかと考えます。

一方、現状では設計から積算、施工まで広く活用されている BIM については、構造設計の立場からは構造躯体データを中心とした建物モデルや設備データによる建物モデルの活用も推進されていると考えられます。意匠・構造・設備の不整合あるいは干渉チェックや積算・施工情報へ展開されていると考えられますが、実際に活用された経験がない方や、異なる手法もあり情報提供することも有益では無いかと考えました。

BIM については、JSCA BIM 部会から活用の状況等の報告を頂くこととしました。

記

日 時：2025 年 9 月 27 日（土）13:00～17:10（配信開始 12:45）

会 場：オンライン講習会（Zoom ウェビナー）

内 容：構造設計のいま、このさき ※タイトルの名称等は変更する場合があります。

- | | |
|--|-------------------|
| 講演 1. 大阪・関西万博 大屋根リングの基本設計から実施設計まで | 林 将利（梓設計） |
| 講演 2. 大阪・関西万博 大屋根リング（北東工区）における施工記録 | 篠原慎吾（大林組） |
| 講演 3. 大阪・関西万博 大屋根リング（西工区）の実現に向けた施工上の取り組み | 今野浩幸（竹中工務店） |
| 講演 4. BIM の現状と今後について | 伊藤 央（JSCA BIM 部会） |
| 講演 5. 建築構造設計と AI 技術のコラボレーション | 松原由典（竹中工務店） |

参 加 費：JSCA 建築構造士、JSCA 名誉構造士：4,000 円

個人会員（正・一般・学術・名誉・学生）：6,000 円

賛助会員・非会員：8,000 円 ※全てテキスト代・送料込み

定 員：500 名

申込方法：別紙参照

申込締切日：9 月 25 日（木）

※講習会前日までにテキスト到着を希望する方は、9/22（月）までにお申込みください。

JSCA 建築構造士登録更新評価点※：25 点

建築 CPD 情報提供制度対象講習会※：申請予定

※所定の時間を聴講したとみなされた参加者が対象となります。確実に付与されるようネット環境の事前確認を行い、通信障害等が発生しないようにしてください。承認された方は、CPD は CPD 情報システムより、評価点は JSCA ホームページの会員ページよりご確認ください。